



令和4年(2022年)
5月18日(水)
発行所
島根日日新聞社
〒693-0001 出雲市今市町743-22

学生のUターン就職を強化

県と広島文教大が協定締結

広島文教大学(広島市安佐北区)と県が17日、県内出身大学生のUターン就職対策強化などを軸とした「就職支援に関する協定」を締結した。県庁で商工労働部の田中麻里部長と森下要治学長が協定書を交わした。

同大は1966年、広島文教女子大学として開学。2019年4月に男女共学化し、現在の大学名に改称した。22年5月1日現在で1641人の学生(院生含む)が在籍してお

り、内171人が島根県出身者。同大では約6割の学生が広島県出身が多い。身だが、県外者では島根出身の学生が最も

女子学生の就職実績はあるが、共学化から4年目を迎え、男子学生の就職先確保が課題となっていたところ、中国地方の大学に進学した県内出身学生とのつながりを維持し、県内就職につなげたい県が同大に着目した。締結式で田中部長は、今年度から県内企業の魅力発信事業の促

進に取り組んでいることを紹介し、「企業が学生を迎え入れるにあたり、働きやすい職場の環境づくりを県として働きかけていきたい」と述べた。森下学長は「広島で大切に育てた島根の若者たちが島根の発展に寄与できるよう、県の皆さまと長いお付き合いをさせて

いただきたい」とあいさつした。式後、森下学長は、島根県との協定締結には個人的な思いもあったとし、「私は出雲市出身。教育を通じて郷里に恩返しができる。本学の学生が立派に育つて郷里のために活躍する姿をたくさん見たい」と話した。



記念撮影する田中麻里・商工労働部長(左)と森下要治学長=17日、松江市殿町の島根県庁